

# 「もんじゅ」の現在のプラント状態

制御棒を挿入し炉は停止中

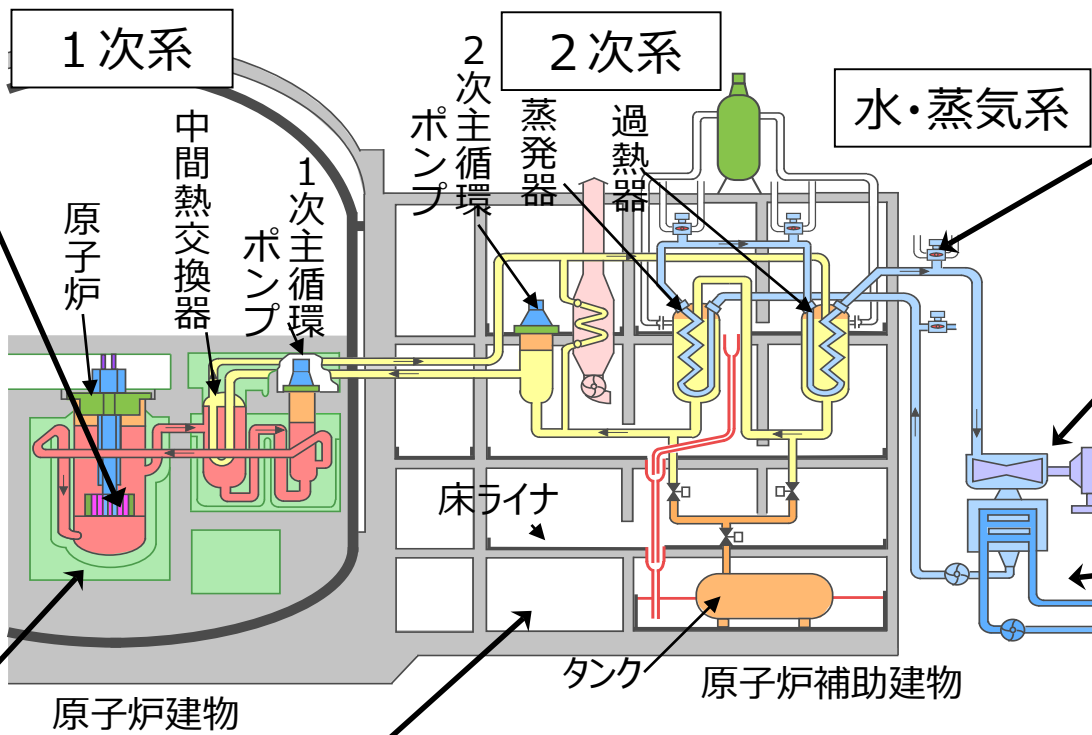
運転停止に関する恒久的な措置  
・原子炉モードスイッチを「運転」「起動」に切替できない措置  
・制御棒駆動装置への電源供給ケーブルの切断及び除去等



1次系の系統温度を約200℃に維持

窒素雰囲気を維持(窒素雰囲気なので、1次Naが漏えいしてもナトリウムは**燃焼しない**。)

2018年12月5日に、2次系全てのナトリウムの抜き取りを完了し、現在タンク内で固体の状態で保管中



窒素ガスを封入し保管中

乾燥空気にて保管中

海水を抜き、機器を分解して保管中

- ・炉心の崩壊熱：約30kW（原子炉容器からの放散熱約50kWよりも小さい）
- ・1集合体あたりの最大崩壊熱：約0.2 kW（白熱電球2個分）
- ・40%出力運転以降20年以上経っていることから、炉心の崩壊熱及び放射能は、当該運転直後に比べてきわめて低いレベルにある。
- ・運転期間も短いことから1次冷却材に蓄積された放射性物質の量も少ない。